

全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 組み合わせ基準

令和6年2月2日改訂

(公財)全国高体連バドミントン専門部

第1条 (公財)全国高体連専門部規約第10章第20条により、全国高校総体の組み合わせ基準を次のように定める。

1 学校対抗(団体戦)

第1条件

前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞校を入れる。

※ 1位、2位、3位、5位の順

第2条件

前年度全国高校総体ベスト8入賞校を入れる。

※ 1位、2位、3位、5位の順

第3条件

開催都道府県第1代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

※ 開催都道府県は、原則単独地区(ブロック)とする。

第4条件

第1・第2条件によって入っていない地区(ブロック)の第1代表を入れる。

第5条件

第1・第2条件によって入っている地区(ブロック)の第1代表がまだ入っていない時は入れる。

第6条件

開催都道府県第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

第7条件

各地区(ブロック)の第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

第8条件

上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※ 第1条件の1位、2位、3位は地区(ブロック)を考慮しない。それ以降は可能な限り地区(ブロック)内の数のバランスを考慮して抽選を行う。

※ 試合番号 1・9・10・18に入るのは、同地区(ブロック)からは2つまでとする。

※ 初回戦が前年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。

※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

2 個人対抗（ダブルス）

第1条件

前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞者を入れる。

※ 1位、2位、3位、5位の順

第2条件

前年度全国高校総体ベスト8入賞者が第1条件によって入っていない時は入れる。

※ 1位、2位、3位、5位の順

第3条件

開催都道府県第1代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

第4条件

前年度全国高校総体ベスト16入賞者が第1・第2・第3条件によって入っていない時は上位から入れる。

第5条件

第1・第2・第4条件の該当者でパートナーの変更(組替)によるときは、第1条件から順に入れる。

第6条件

第1・第2・第4・第5条件によって入っていない地区(ブロック)の第1代表を入れる。

第7条件

開催都道府県第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

第8条件

上記にない各地区(ブロック)の第2代表を入れる。

第9条件

上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※ 同県の選手は等分に抽選する。

※ 第1条件の1位、2位、3位は地区(ブロック)を考慮しない。それ以降の抽選は可能な限り地区内の数のバランスを考慮し抽選を行う。

※ 試合番号 1・18・19・36に入るのは、同地区(ブロック)からは2つまでとする。

※ 初回戦が前年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。

※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

3 個人対抗（シングルス）

第1条件

前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞者を入れる。

※ 1位、2位、3位、5位の順

第2条件

前年度全国高校総体ベスト8入賞者が第1条件によって入っていない時は入れる。

※ 1位、2位、3位、5位の順

第3条件

開催都道府県第1代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

第4条件

前年度全国高校総体ベスト16入賞者が第1・第2・第3条件によって入っていない時は上位から入れる。

第5条件

第1・第2・第4条件によって入っていない地区（ブロック）の第1代表を入れる。

第6条件

開催都道府県第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

第7条件

上記にない各地区（ブロック）の第2代表を入れる。

第8条件

上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※ 同県の選手は等分に抽選する。

※ 第1条件の1位、2位、3位は地区（ブロック）を考慮しない。それ以降の抽選は可能な限り地区内の数のバランスを考慮し抽選を行う。

※ 試合番号 1・18・19・36に入るのは、同地区（ブロック）からは2つまでとする。

※ 初回戦が前年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。

※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

全国高等学校選抜大会組み合わせ基準

令和6年2月2日

(公財)全国高体連バドミントン専門部

第2条 (公財)全国高体連専門部規約第10章第20条により、全国高校選抜大会の組み合わせ基準を次のように定める。

1 学校対抗(団体戦)

第1条件

同年度全国高校総体ベスト8入賞校を入れる。

※1位、2位、3位、5位の順

第2条件

前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞校を入れる。

※1位、2位、3位、5位の順

第3条件

開催都道府県第1代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

※ 催都道府県は、原則単独地区(ブロック)とする。

第4条件

第1・第2条件によって入っていない地区(ブロック)の第1代表を入れる。

第5条件

第1・第2条件によって入っている地区(ブロック)の第1代表がまだ入っていない時は入れる。

第6条件

開催都道府県第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

第7条件

各地区(ブロック)の第2代表が第1・第2条件によって入っていない時は入れる。

第8条件

上記の基準を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※ 第1条件の1位、2位、3位は地区(ブロック)を考慮しない。それ以降は可能な限り地区(ブロック)内の数のバランスを考慮して抽選を行う。

※ 試合番号1・9・10・18に入るのは、同地区(ブロック)から2つまでとする。

※ 初回戦が同年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。

※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

2 個人対抗（ダブルス）

第1条件

同年度全日本ジュニア選手権大会ベスト8入賞者を入れる。

※ 1位、2位、3位、5位の順

第2条件

同年度全国高校総体ベスト16入賞者が第1条件によって入っていない時は入れる。

※ 1位、2位、3位、5位、9位の順

第3条件

前年度全国選抜大会ベスト8入賞者を入れる。

※ 1位、2位、3位、5位の順

第4条件

開催都道府県第1代表が第1・第2・第3条件によって入っていない時は入れる。

第5条件

第1・第2・第3条件の該当者でパートナーの変更(組替)によるときは、第1条件から順に入れる。

第6条件

第1・第2・第3・第5条件によって入っていない地区(ブロック)の第1代表を入れる。

第7条件

上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※同県の選手は等分に抽選する。

※第1条件の1位、2位、3位は地区(ブロック)を考慮しない。それ以降はできる限り地区(ブロック)内の数のバランスを考慮し抽選を行う。

※初回戦が同年度全日本ジュニア選手権大会と同じ対戦にならないようにする

※初回戦が同年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。

※初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

3 個人対抗（シングルス）

第1条件

同年度全日本ジュニア選手権大会ベスト8入賞者を入れる。

※1位、2位、3位、5位の順

第2条件

同年度全国高校総体ベスト16入賞者が第1条件によって入っていない時は入れる。

※1位、2位、3位、5位、9位の順

第3条件 前年度全国高校選抜大会ベスト8入賞者を入れる。

※1位、2位、3位、5位の順

第4条件

開催都道府県第1代表が第1・第2・第3条件によって入っていない時は入れる。

第5条件

第1・第2・第3条件によって入っていない地区（ブロック）の第1代表を入れる。

第6条件

上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りを抽選する。

※ 同県の選手は等分に抽選する。

※第1条件の1位、2位、3位は地区（ブロック）を考慮しない。それ以降はできる限り地区（ブロック）内の数のバランスを考慮し抽選を行う。

※ 初回戦が同年度全日本ジュニア選手権大会と同じ対戦にならないようにする

※ 初回戦が同年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。

※ 初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。